

校長室

本校もまもなく三回目の夏休みを迎えます。

この通信が発行される一学期終業式には、始業式に呼びかけた『桃花台生さ・し・す・せ・そ』の標語を發表することに



本校のような県外の高等支援学校を毎年視察しています。この一学期には、茨城県立水戸高等特別支援学校を視察して参りました。この学校では、生徒・教職員共通スローガンを毎年掲げています。ちなみに、本年度は「挑戦・感動 そして 笑顔」とのこと。生徒の自主性・主体性を育む教育体制が構築されていると感じました。本校は開校三年目を迎えたとはいえ、まだ発展途上の学校ですので、教育体制の整備が大きな課題でもあります。しかし一方で本校生徒の潜在的な力をもっと前に出したい、持ち上げたいという願いは私ばかりでなく、全教職員も感じているところです。こうした思いを生徒に伝えるだけでなく、仕向けることも私たちがの仕事です。本校の各教室にはクラス目標以外にも、様々な掲示物があります。なかには机上に付箋が貼り付けてあり、目標が記されています。こうした小さな取組でも心に響かせたり、共感させたりすることが大事ではないでしょうか。

『桃花台生 さ・し・す・せ・そ』にちなんで

高等支援学校桃花台学園 校長 宮下 誉夫

ところで、私が生徒に呼びかけたこの『桃花台生さ・し・す・せ・そ』は、求められる桃花台生徒像を、生徒も巻き込んで考えていきたいというねらいがあります。当初、私の方で、『さ・し・す・せ・そ』を素直な人、信頼される人、す・素直な人、



INFORMATION TOKADAI

桃花ダイスキマーケット

好評をいただいております、【桃花ダイスキマーケット】は3年目を迎えました。6月にはこれまでで最高の来場者をお迎えしました。カフェでは、限定のケーキやミニパンをお飲み物と一緒に召し上がっていただけるようになりました。今後も大勢の皆様方のご来場をお待ちしております。

9月 8日(金) 1月16日(火)
10月 3日(火) 2月 9日(金)
11月18日(土) 【秋の大収穫祭】
12月12日(火)

授業体験会

8月末に授業体験会を行います。事前相談・申込が必要ですので、本校ホームページをご確認ください。地域の特別支援学校や公立・私立高校と比較する中で、進路決定の参考にいただければと思います。

日時 8月26日(土) 午前8:30~12:00

内容 専門コースの授業体験

第3回 桃翔祭

「Nothing is impossible」～無限の可能性～のテーマのもと、無限の可能性を発揮し、みんなで協力して盛り上げます。

◆9月22日(金) 体育祭 8:50~14:40

本年度は学年の壁を越え、縦割りで競技します。チームカラーは次の通りです。

A組 オレンジ C組 青
B組 黄 D組 桃

雨天時は体育館で実施し、保護者の参観はできません。ご了承下さい。

◆9月23日(土) 文化祭 8:50~15:00

クラス旗入場、文化部の発表、全校合唱、有志発表、模擬店を行う予定です。審査対象のクラス旗作りに、優勝をめざして取り組んでいます。模擬店の準備も始動しました。教室や屋外で販売いたします。ぜひご来場下さい。



進路見学・第1期現場実習を終えて

1年生の進路見学、2、3年生の現場実習が大きなトラブルもなく無事に終了することができました。今回の進路見学、現場実習は45社9福祉事業所の協力をいただきました。地域も北杜市、富士吉田市、上野原市など山梨県全域だけではなく、東京都多摩地区など大変広い範囲に及びました。



進路指導主任 星野融悦

【1年生進路見学】

自分たちの進路について、具体的なイメージをもつことを目的にして、先輩達が働いている実習先・就職先企業を3日間かけて見学しました。訪問した企業は「THK株式会社甲府工場（製造業）」、「有限会社アグリマインド（農業）」、「株式会社NSD八ヶ岳ファーム（農業）」、「富岳通運株式会社（運輸業）」、「ワタキューセイモア株式会社（クリーニング）」、「マクドナルド（ファストフード）」です。それぞれの企業では、働いている先輩や卒業生の姿も見ることができました。「マクドナルド」では、全員が自分たちが食べるハンバーガーを作る体験をさせてもらいました。見学を通して、自分たちが卒業後どんな仕事をしていくかを考えるよい手がかりになったと思います。



お客様からの注文を受けています



先輩からやり方を教わっています



検品方法の説明を受けています

【2、3年生現場実習】

2年生は、自分の適性を知ることや希望する仕事の職種を見つけ出すことを目的に1週間の実習を行いました。企業での実習が初めての生徒が多く、しっかりできるか不安もありましたが「元氣よくあいさつをすること」「遅刻・欠勤をしないこと」「報・連・相をしっかりとすること」等の基本的な事が守れるように気を付けながら実習に取り組み、全員無事やり遂げることができました。

3年生の実習の目的は、卒業後の就職先を見つけることです。“3年次の現場実習は就職活動”をスローガンに、多くの生徒が自分の希望する会社や福祉施設での実習に臨みました。努力が実り良い評価を得られた生徒、思った結果がでなかった生徒など結果は様々ですが、これを機にさらに自分を見つめ直し、十分な振り返りを行ってから夏休みの実習や2期の現場実習の準備に取りかかってください。就職戦線はこれから本番です。



〈宮坂醸造株式会社〉



〈有限会社営農塾マルニ〉



〈ビップ物流株式会社〉



〈株式会社カナエフーズ〉

寄宿舎での生活

開校3年目を迎え寄宿舎も全学年が揃いました。1年生7名、2年生3名、3年生4名の計14名の舎生でスタートしました。男子リーダーの小林啓一さん、女子リーダーの梶原朱莉さんが中心となり、配膳・掃除・当番活動や行事の取組などみんなで協力し助け合いながら生活をしています。

1年生にとっては、初めての寄宿舎生活です。先輩に教えてもらったり、助けられたりしながら様々な経験を積み重ねているところです。日課時間を意識しながら自分のことは自分ですること、集団生活のルールを守りながらみんなと心地よい生活を送ることなど「自分の生活づくり」に新米ながら日々奮闘し、自立へ向け一歩一歩進んでいます。

この1年が終わる時、14名の舎生がそれぞれ成長し大きくたくましくなっていることを願い、「いってきます！」と登校する後ろ姿に、今日も「いってらっしゃい！」と見送ります。



1年生～林間学校を終えて～

6月2日（金）～3日（土）の1泊2日で八ヶ岳少年自然の家において林間学校を行いました。初日の野外散策では、出発すると小雨がばらばら降り出したのですが、すぐに雨が止み、その後は晴天に恵まれました。美し森展望台で食べたソフトクリームは、強風だった為に溶けるのが早く、なかなか味わうことができなかったようです（笑）。

夜のレクリエーションでは、子どもに大人気の「あの」キャラクターが登場！！大いに盛り上がり、親睦をさらに深めました。

2日目はカレー作りを行いました。事前学習で一度作っていたこともあり、生徒達だけで協力しながら作ることができました。同じ食材、カレールーを使っているのに、味が微妙に違うのが不思議でした。どのクラスのカレーが一番美味しかったのかを競い合う様子も見られ、終始楽しい雰囲気の中で終えることができました。

あっという間の2日間でしたが、1学年の団結力が高まった林間学校でした。事後学習の川柳大会（林間学校の思い出を川柳にする）では、短い文言にそれぞれの思い出を詠みました。楽しかっただけではなく、今回学んだことを今後活かしていくことを全員で確認し、林間学校を終えることができました。



本校では、1学期に、笛吹警察署交通課署員と笛吹市役所専門交通指導員による「自転車安全教室」、LINE株式会社オフィシャルインストラクターによる「携帯・スマホ安全教室」、笛吹警察署生活安全課署員による「防犯安全教室」の3つの安全教室を実施しました。生徒の様々な「安全」について事前に講師の方々と打合せをする中で、大切なことがありましたので、共通していることを、以下にまとめます。

2 危険回避の方法

危険に近づかないことが鉄則です。そして、緊急時には、大声を上げる、防犯ブザーを使用する、逃げる、警察へ通報するなど、積極的に助けを求めるようにしましょう。

3 高校生として犯罪の被害者にも加害者にもならないための生活の確立

- ア 基本的な生活習慣を確立する
 - ・規則を守る
 - ・時間を守る
 - ・挨拶をする
- イ ニュースや身の回りのことに関心を持ち、社会の動きや問題を知る
- ウ どのような大人になりたいかを意識し、夢や理想をもって生活する
- エ 親、先生や地域の方々によって見守られていることへの感謝の気持ちをもつ

安全教室総括

生徒指導部の取り組み

1 危険・要注意箇所を予測すること

狭い道路、見通しが悪い場所、人通りが少ないところ、藪や路地、倉庫、空き家など人が身を隠しやすいところ、大型車が頻繁に通る場所、公園や空き地など不特定の人が容易に入りやすい場所、一般的には、駐車場、駐輪場、道路上、公園などで犯罪発生が多いとのこと。また、携帯・スマホ等によるインターネット上では、住所や携帯電話番号等の個人情報が容易に拡散してしまうトラブルがあります。また、他人への誹謗中傷など、軽い気持ちでも相手を傷つけたり脅迫してしまうケース等があります。

危険予測の仕方、危険回避方法、発生しうる危険について自分で予測することがとても大切だそうです。



各教室では、わかりやすいようにDVDやパソコン等を活用して、青少年が陥りやすい非行犯罪の事例について、被害者や加害者にならないための行動について考えました。また、交通事故に遭わない手だてや安全な自転車通学についても実践を通して考えることができました。今後も安全を最優先した意志決定や行動選択ができるように、防犯や非行防止、交通安全についての意識を高めていきましょう。

